

公益社団法人 第7回理事会・第5回社員総会 議決

平成25年度

# 事業報告書

平成25年4月1日から  
平成26年3月31日まで

公益社団法人 北之台雅楽アンサンブル

## 【基本方針】

- (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催
- (2) 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催
- (3) 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介
- (4) 管理・広報部門の充実（法人活動）

具体的事業報告は以下の通りである。

## 【具体的事業報告】

### (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催

#### [公益目的事業Ⅰ－1]

##### ① 雅楽に関する講演会

##### 第三回『雅楽と国際文化交流』講演会

- a. 事業の趣旨：日本の伝統芸術の一つである「雅楽」への認識を促すべく、雅楽中心とした日本文化をテーマに講演会を開催する。
- b. 日時：平成25年2月1日（土） 14：00 開演
- c. 場所：銀座十字屋ホール
- d. 対象：一般
- e. 講師：ウィリー・ヴァンドゥワラ教授
- f. （ベルギー、ルーヴァン・カトリック大学日本語学科教授）  
『ベルギー・日本の文化交流150年（2016）に向けて』  
雅楽演奏：管絃『太食調音取』『輪鼓禪脱』、左方舞楽『青海波』

当日は、当アンサンブル特別顧問である森英介・衆議院議員、クリストフ・ドゥ・バツソンプィエール・ベルギー臨時代理大使、横田淳・前駐ベルギー日本大使、安齋省吾・前宮内庁式部職楽部首席楽長を始めとするご来賓に加え、100名の一般参加があった。

冒頭、森特別顧問のご挨拶ののち、第一部の雅楽演奏が行われた。昨年10月に行われたアメリカ東海岸大学公演の演目より、管絃『太食調音取』『輪鼓禪脱』及び左方舞楽『青海波』を披露。

第二部では、横田前駐ベルギー日本大使のご挨拶に次いで、ヨーロッパにおける日本学の権威、ベルギー・ルーヴァン・カトリック大学文学部東方・

スラブ学科長のウィリー・ヴァンドゥワラ教授が登壇。『ベルギー・日本の文化交流 150 年（2016）に向けて』をテーマに講演が行われた。

来る 2016 年は、ベルギー王国（1830 年建国）と日本の外交関係が始まった 1866 年日白修好通商航海条約締結より 150 周年の節目を迎えるが、歴史上のベルギー人との交流はポルトガルとの接触が始まった 16 世紀に遡る。爾来、日本へのキリスト教の伝道、本草学（植物学）の影響、貿易関係等において、ベルギー人が多面的な役割を果たしてきたことが写真映像を交え、詳細に紹介された。

特に、第一次大戦下にドイツ軍の放火によって全壊したルーヴァン・カソリック大学図書館の復興事業に対し、日本が関東大震災（1923 年）の被害の中でも多くの日本関係の書物を集め同大学に寄贈した話。一方、関東大震災に見舞われ、多くの被害に苦しむ日本の被災者に対し、ベルギー政府は、米英に次ぐ三番目の高額の義援金を日本に送った話など、あまり知られていない逸話が披露され聴衆の感動を誘った。

その後行われたレセプションに先立ち、当アンサンブル井口理事長が御礼挨拶。次いでドウ・バッソンピエール臨時代理大使がベルギー日本友好 150 周年を祝うご挨拶を下さった。

関東大震災当時、被災者救済に奔放されたアルベール・ドウ・バッソンピエール駐日ベルギー大使（在任 1920～1939）は、今回臨時代理大使としてご来場下さったクリストフ・ドウ・バッソンピエール氏の曾祖父に当たる奇遇であった。

## （2）公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催

### ① 海外雅楽公演及びそれに伴う事業

#### 事業名 1：アメリカ東海岸大学雅楽公演

本事業は、2012 年 4 月に開催された日米桜寄贈 100 周年記念雅楽公演がきっかけとなり、さらなる国際文化交流に貢献することを目的として計画された。

下記の米国東海岸大学より招聘をいただき、雅楽演奏会を実施することとなった。

- a. 日時：平成 25 年 10 月 10 日より 20 日
- b. 開催場所：アメリカ（プリンストン市、ボストン市、アムハースト市）
- c. 対象：各大学在学学生及び一般
- d. 受け入れ機関：

- ・ マサチューセッツ州立大学アジア文化芸術学部（アマハースト市）
  - ・ プリンストン大学東アジア研究プログラム（プリンストン市）
  - ・ バークリー音楽大学（ボストン市）
  - ・ スミス大学（ノースハンプトン市）
- e. 後援：在ボストン日本国総領事館、ボストン日本協会、ボストン日本人会（以上、バークリー音楽大学公演）
- f. 基金：ニューヨーク国際交流基金よりマサチューセッツ州立大学公演への助成事業
- g. 雅楽演奏  
 【管絃】①太食調音取、②傾盃樂、③輪鼓禪脱、④長慶子  
 【舞樂】①迦陵頻、②龍村周氏より青海波装束の説明、③青海波
- h. 特記事項：  
 ・ 京都錦織の至宝である龍村光峯より、四代目龍村周氏が同行し、舞楽公演の中で青海波文様についての解説が行われた。  
 ・ バークリー音楽大学では、タイガー大越先生のトランペット演奏との「越殿樂」のコラボレーションが行われた。
- i. 反響  
 ・ プリンストン大学（入場者 210 名）  
 プリンストン大学（ニュー・ジャージー州プリンストン 1746 年設立）は、アイビー・リーグ 8 校の一つで、世界の様々な大学ランキングでも常に上位に位置する名門校である。  
 同大学のフリスト・キャンパス・センターにて、11 日、12 日の二日間において公演が行われた。200 名入る会場はほぼ満席で、雅楽や日本文化に対する関心の高さが伺えた。また、同校は海外における日本語教育のモデル校にも指定されており、今回の公演には多くの日本人教育関係者にもご来場頂いた。  
 さらに、京都の錦織作家・龍村周氏による錦織レクチャーも併せて行われ、錦織や青海波の衣装に関する説明も行われ、来場者の興味を大いに引いた。  
 尚、同大学での公演の舞楽「迦陵頻」にはベルギー在住の当アンサンブルの舞楽生徒も参加し、より国際色豊かなものとなった。
- ・ バークリー音楽大学（入場者 250 名）  
 1945 年設立のバークリー音楽大学は、当時の音楽大学がクラシック主流であった中、ジャズなどのポピュラー音楽を扱う大学として創設され、現在のジャズ、ポピュラー音楽理論の発展に大いに貢

献してきた大学である。

公演に先立ち器楽クリニックが開催され、本公演においては1975年にバークリーを首席で卒業し、1976年より教鞭をとっておられるタイガー大越先生と、越殿楽でのコラボレーションが実現した。

龍村周氏による錦織レクチャー、さらに、今回の演奏会では管方も新調された襲装束を身につけ、一段と華やかな舞台となった。

迦陵頻は日本からの舞人3名とアメリカ在住の1名の4人によるものである。

- ・ マサチューセッツ州立大学（入場者 200 名）

大学公演3つ目の会場となったのは、2008年米国さくら祭り「ふるしき」公演の会場ともなったボーカー・オーディトリウム。客席はバルコニーを持ち音響にも優れた建物である。

そもそも、今回の大学公演はマサチューセッツ州立大学フィン・アーツ・センター、アジア芸術文化プログラム・ディレクターのランジャナ・デヴィ教授のお茶の紹介を目的した公演計画に端を発し、それが2012年4月の日米桜寄贈100周年記念公演になり、さらに本公演へとつながったもので、今公演は本大学公演の原点とも言えるものである。

- ・ スミス大学（音楽学部学生 10 名）

スミス大学はアメリカ東海岸においてセブン・シスターズと言われる由緒ある名門女子大学の一つとして有名である。

今回の雅楽紹介は同大学において初の雅楽披露となった。対象学生は音楽学部の学生ということもあり参加者の興味を大いに引いた。

## 事業名2：アメリカ・ボストン春祭り

ボストンは岩倉使節団から始まる日本とゆかりの深い街である。そのボストンでさくらの植樹100年を記念して在ボストン日本国総領事館の後援の元、日系企業、日系各団体等からの協賛を受け、昨年2012年4月に第1回目のボストン春祭りが催され、当アンサンブルも舞楽もって参加した。

2回目となる本年も、ボストン日本人会より参加を依頼され、舞楽の公

演を行うことになった。

- a. 日時：平成 25 年 5 月 19 日（日）
- b. 開催場所：ボストン市庁舎前広場
- c. 対象：一般（ボストン市民）
- d. 渡航人員：楽人 2 名
- e. 主催団体：ボストン日本協会、ボストン日本人会、ニューイングランド日系企業懇話会、昭和ボストン他
- f. 後援：在ボストン日本国総領事館
- g. スポンサー ボストングローブ（新聞社）、日本航空、武田製薬、トヨタ自動車、ボストン・レッドソックス等

ボストン市庁舎前広場にて“2013 Japan Festival in Boston”と題して開催され、来場者 1 万人を超える大盛況となった。

本年は、日本を紹介するパフォーマンスとして屋外ステージで、雅楽、日本舞踊、キッズダンス、フォークソング、J-pop バンド等の演奏が行われた。また大リーグの野球チーム、ボストン・レッドソックスによるオークション等も行われた。

当アンサンブルは、午前 11 時から左方舞楽「陵王」、午後 2 時から右方舞楽「胡蝶」を披露した。千年を越える舞楽に千人余りのボストニアン達は魅了され、大勢の観衆がカメラにおさめていた。

また、ボストン市長メニーノ氏より、「2013 年 5 月 19 日をボストン日本祭りの日」として宣言され、武藤総領事とボストン日本人会々長、中塚氏に感謝状が授与された。

### 事業名 3-1：オーストラリアにおける雅楽紹介 (カウラ桜祭り)

本事業は、日本文化の紹介および日豪両国の親睦と交流を図ることを目的として毎年継続して実施されている。

- a. 日時：平成 25 年 9 月 28 日（土）
- b. 開催場所：ニュー・サウス・ウェールズ州カウラ市  
カウラ・ジャパニーズ・ガーデン
- c. 対象者：一般
- d. 主催：カウラ・ジャパニーズ・ガーデン
- e. 雅楽演奏：太食調「傾盃楽急」「輪鼓禪脱」「長慶子」

日本と縁の深いこの街のジャパニーズ・ガーデンで毎年 9 月に行われているさくら祭りは、年々規模を拡大し来場者も増えている。

当アンサンブルは、昨年引き続き本年も参加し、500 名の観客の前で雅楽を披露した。

### 事業名 3-2：オーストラリアにおける雅楽紹介

#### (Japan Expo & 祭り in Sydney)

本事業は、日本文化の紹介および日豪両国の親睦と交流を図ることを目的として、昨年に続いて実施された。

- a. 日時：平成 12 年 12 月 14 日（土）10 時～20 時
- b. 場所：Tumbalong Park, Darling Harbour, Sydney
- c. 主催：祭り実行委員会
- d. 共催：在シドニー日本国総領事館、シドニー日本クラブ、シドニー日本人会、シドニー日本商工会議所、国際国流基金シドニー文化センター、日本政府観光局シドニー事務所、自治体国際化協会シドニー事務所、日本貿易振興機構シドニー事務所
- e. 入場数：10,000 名（収容数：15,000 名）
- f. 演目：左方舞楽「陵王」

昨年に引き続き、今年もシドニー湾に臨むダーリング・ハーバーにおいて開催された Japan Expo & 祭り in Sydney。特に今年は、日豪両国の政府観光局が「日豪観光交流 50 周年」とし、両国の各地で様々なイベントが開催された。Japan Expo は従来から行われている「祭り in Sydney」の取り組みと連携し、日本の魅力をさらに多くの人にアピールするオーストラリア最大の訪日観光促進イベントとなっている。

当アンサンブルはオフィシャルオープニングに続く小林シドニー総領事代理のご挨拶の後、左方舞楽「陵王」を披露した。

### ② 海外における教育機関等における雅楽演奏会、日本文化体験教室

#### マサチューセッツ州立大学アジア言語文学学科雅楽ワークショップ

マサチューセッツ州立大学アムハースト校アジア言語文学学科ドリス・バーゲン教授のクラス“日本の文化と芸術”では、10 年以上の雅楽紹介を実施している。

- a. 事業名：雅楽ワークショップ

- b. 日時：平成 25 年 10 月 17 日（木）16：00～
- c. 開催場所：アメリカ・マサチューセッツ州立大学内講義室
- d. 対象：日本語を専攻する同校大学生約 50 名
- e. 受け入れ機関：マサチューセッツ州立大学（担当バーゲン教授）
- f. 内容：舞楽「迦陵頻」と「青海波」の演奏と質疑応答
- g. 質疑の内容：
  - ・青海波の鳥甲のデザインの意味は。
  - ・装束の価格、迦陵頻の羽根の材質は。
  - ・楽器の年齢、太鼓の表面の材質。
  - ・舞人として完成されるまでに要する期間。
  - ・どのように指揮者もなく、合奏が出来るのか。

### （3）公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介

#### ① 雅楽演奏会

##### 第 9 回明治大学連合父母会父母交流会雅楽演奏会

今年で第 9 回となる明治大学連合父母会の父母交流会において、雅楽の演奏会を実施することになった。昨年と同様の内容で実施された。

- a. 事業名：第 9 回明治大学連合父母会父母交流会雅楽演奏会
- b. 日時：平成 25 年 11 月 17 日（日）
- c. 場所：明治大学リバティール・ホール
- d. 対象：同校学生・保護者（500 名）
- e. 演目：管絃「双調音取」「胡飲酒破」、左方舞楽「甘州」

会場のリバティール・ホールには多数の来場者があり、多くの学生イベントなどが演じられたが、今年もその最後を締めくくる演目として当アンサンブルが出演した。

演目は昨年と同様の内容で、楽器紹介に続いて、管絃「双調音取」「胡飲酒破」、左方舞楽「甘州」を奏し好評を博した。

#### ② 雅楽体験教室（千葉県委託事業「プロに学ぼう 器楽クリニック」）

本事業は、千葉県環境生活部県民交流・文化課より、青少年を対象とした文化振興の委託事業として実施することとなった。

- a. 事業名：平成 25 年度 プロに学ぼう「器楽クリニック」（邦楽）



b. 日時・会場：

- (ア) 平成 25 年 9 月 26 日香取市立香取中学校
- (イ) 平成 25 年 11 月 21 日富里市立富里中学校
- (ウ) 平成 25 年 11 月 29 日鋸南町立鋸南中学校
- (エ) 平成 25 年 12 月 4 日習志野市立大久保東小学校
- (オ) 平成 26 年 1 月 7 日君津市立中小学校
- (カ) 平成 26 年 1 月 10 日四街道市立千代田中学校
- (キ) 平成 26 年 1 月 14 日市原市立姉崎東中学校

c. 参加者数：

(ア) 香取市立香取中学校	150 名 (1～3 年生)
(イ) 富里市立富里中学校	223 名 (1 年生)
(ウ) 鋸南町立鋸南中学校	130 名 (1～2 年生)
(エ) 習志野市立大久保東小学校	107 名 (6 年生)
(オ) 君津市立中小学校	200 名 (3～6 年生)
(カ) 四街道市立千代田中学校	99 名 (1 年生)
(キ) 市原市立姉崎東中学校	189 名 (1～2 年生)
	合計 1,098 名

d. 内容：

(ア) 鑑賞

➤ 雅楽鑑賞

管絃「平調音取」「陪臚」もしくは「越殿楽」

➤ 舞楽鑑賞

舞楽「迦陵頻」もしくは「青海波」

(イ) 体験

➤ 楽器体験

- ・ 楽器体験では、8 種類の楽器を体験した。
- ・ 生徒は 6 グループに分かれて打物(鞆鼓・太鼓・鉦鼓)、笙、箏、龍笛、箏、琵琶の楽器体験をした。
- ・ 学校側にタイムキーパーをお願いし、回る順番を決めて、各グループが 10 分毎に楽器を移動し、決められた時間内で、できるだけ多くの楽器に触れてもらうように配慮した。

➤ 舞楽体験

- ・ 生徒の代表 4 名が舞台にあがり、舞人と共に全生徒が一緒になって舞楽「迦陵頻」の出手(でるて)の舞の体験をした。

➤ 朗詠体験

- ・ 朗詠「嘉辰」を全生徒対象に実施した。
- ・ アンサンブルが歌唱指導を行い、その後に全員で唄った。

e. 成果：

学校とも雅楽の鑑賞、舞楽の体験等、初めての生徒が多く、雅楽が世界最古のオーケストラであり、日本の最も古い伝統文化であることを理解することができた。

伝来された中国や朝鮮には既になくなってしまい、日本にのみ残る世界的な文化的遺産であることも理解してもらった。

雅楽は、その音楽形態、楽器、装束等すべてが千数百年来、そのままの形態で今日まで伝承されてきた「保存の文化」であることがよく理解された。千数百年前と同じ楽器や装束を身近に体験することによって、「過去を知る」ことに繋がり、今の生活から離れたところに先人の知恵を感じその利便性等に気付くことは、雅楽を音楽として認識するだけではなく、新しい発見や感動を生むことに発展した。

雅楽を習っている生徒（17名）がいた学校では、アンサンブルと一緒に「越殿楽」の合奏をすることができた。生徒の代表からは、日本の伝統芸術である雅楽の後継をしていかなければならないとの決意が述べられ、文化祭での演奏の練習（技術の向上）になったとの謝辞が述べられた。

参加された生徒からの感想文が届き、初めて聞く日本の伝統芸術である雅楽の音色に多くの生徒が感動し、海外にこの雅楽の音色を伝えることの大切さ（意義）を理解した。

音楽担当の先生からは、やはり生の音楽は迫力や音の重なりを肌で感じられ、生徒達は大変喜んでいました。この素晴らしい体験が活かせますよう、授業もより一層頑張っていきたいとの御礼があった。

町の教育委員会の方々の視察もあり、地域行政と一体となったクリニック事業となった。

[公益目的事業—共通]

雅楽関係備品の購入

品目：舞台道具（平台 木製、譜面台 木製、地敷（裏付） 布製、  
地敷（裏なし） 布製、高欄 四方 木製、床几）

目的：千葉県からの委託事業であるプロに学ぼう「器楽クリニック」が平成26年度も継続して実施されることになり、舞台道具を揃え

る必要が生じたため。

#### (4) 管理・広報部門の充実（法人活動）

##### ① 広報活動

- a. 新しい寄付金税制の活用推進（Web、情報誌等を媒体とした PR 活動）
- b. 情報誌（季刊）の作成（寄付者への配布用）

##### ② 事務機能の充実

- a. 定款による業務遂行のための内部充実
- b. 経理業務の委託

以 上